



SOCIAL CHANGE

ビジュアルは、現代美術家 梅沢和木氏の作品です。
「ソーシャルチェンジ」ワークブック表紙に掲載しています。

社会課題探究コース「ソーシャルチェンジ」(全12回)

自ら課題を発見し、その解決を探究するアクティブ・ラーニング型プログラム。

「ソーシャルチェンジ」は、困っている人を助け、笑顔にする企画を考えるプログラムです。

生徒は、自ら見つけた課題に当事者として向き合い、その解決にチームで取り組み、発表します。

社会の一員としての自分の役割を認識し、自ら動き出せる主体性、

世の中に新たな価値を生み出す創造性、

周りの人を巻き込み実現していく、協働する力を育みます。



GOOD
DESIGN

教育と探求社
EDUCA & QUEST



SOCIAL
CHANGE

キミが誰かを
笑顔にする日。

QUEST
EDUCATION

「ソーシャルチェンジ」で生徒たちが変わる

① 主体的に学ぶ力が伸びる

生徒たち自身が主体的に学べる教材(生徒用ワークブック、ワークシート、アニメーション動画教材)に加え、生徒の学びをサポートする先生向けに、授業内での声掛け例などを記載した指導ガイド、実際の授業風景を元に授業の進め方を紹介する解説動画をご用意。話し合いの授業は初めてというクラスでも、生徒たちが自分たちで積極的に学んでいくことができます。

② 生徒自身が社会課題を見つけて取り組む

興味をくすぐる問い、発言しやすい場づくりの仕掛けによって、もっと知りたい、もっと取り組みたいという感情が起こり、学ぶ意欲を引き出します。生徒たちは自然と社会に関心を持ち、自分の力で社会課題を見つけ、当事者意識を持ってその課題に取り組めます。

③ 自分自身を認め、自信を持つようになる

「まずやってみる、やってみたらできた、できたからもっとやりたい」この3つのステップを、12ステップの中で3回体験します。安心・安全な学びの場で挑戦し、失敗を経験する。失敗から学んで成功体験を積み、新たな挑戦に向かう。そのなかで生徒の自己肯定感と自信を高めます。

④ 実社会で使えるコミュニケーション力が伸びる

一人では解決することが難しい課題に、クラスメイトと共に取り組みます。ふとしたアイデアや心から湧き上がる本音を自分の言葉で話し、異なる考えや意見を取り入れ、力を合わせてより良い企画をつくりあげる。そんな体験のなかで、実社会で本当に活用できるコミュニケーション力が育ちます。

概要

実施コマ数 全12回(各50分)

対象 中学生、高校生、大学生

環境 普通教室

※ただし、STEP1、STEP4、STEP9においては、グループに分かれて動画を見るパソコンが必要。

教材

- ・ワークブック(A4サイズ/59ページ、巻末資料/6ページ)
- ・ワークシート(A3サイズ/14枚、A4サイズ/2枚)
- ・動画教材(3本)
- ・指導ガイド(A4サイズ/22ページ)先生用
- ・先生用ワークブック(A4サイズ/60ページ)
- ・チュートリアル動画(3本)先生用

プログラム内容

ステップ	内容	詳細
STEP1~3	学校の課題に取り組む	学校の身近な課題に取り組み、意見を出したり話し合いをする練習をします
STEP4~6	取り組む社会課題を決める	困っている人を探し、笑顔にする企画を考えてプレゼンにまとめます
STEP7~9	企画を磨き込む	クラスメイトの意見や「チェンジメーカー」から学び、企画を最高のものに仕上げます
STEP10~12	最終発表と振り返り	ポスターセッション形式で自分たちの企画をクラスのみんに発表します

お問い合わせ

株式会社教育と探求社 ソーシャルチェンジ担当

Mail:sc@eduq.jp Tel:03-6674-1234 Fax:03-6674-1596